

みずほCustomer Desk Report 2019/02/27号(As of 2019/02/26)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	111.04
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	111.05	1.1365	126.18	1.3128	0.7170
SYD-NY High	111.08	1.1402	126.22	1.3288	0.7195
SYD-NY Low	110.41	1.1345	125.73	1.3097	0.7142
NY 5:00 PM	110.59	1.1389	125.94	1.3250	0.7188
NY DOW	26,057.98	▲ 33.97	日本2年債	-0.1700	0.00bp
NASDAQ	7,549.30	▲ 5.16	日本10年債	-0.0300	1.00bp
S&P	2,793.90	▲ 2.21	米国2年債	2.4829	▲ 2.59bp
日経平均	21,449.39	▲ 78.84	米国5年債	2.4460	▲ 3.44bp
TOPIX	1,617.20	▲ 3.67	米国10年債	2.6366	▲ 3.05bp
シカゴ日経先物	21,525.00	▲ 45.00	独10年債	0.1165	0.85bp
ロンドンFT	7,151.12	▲ 32.62	英10年債	1.2050	3.30bp
DAX	11,540.79	35.40	豪10年債	2.0890	2.50bp
ハンセン指数	28,772.06	▲ 187.24	USDJPY 1M Vol	5.60	0.24%
上海総合	2,941.52	▲ 19.77	USDJPY 3M Vol	6.15	0.06%
NY金	1,328.50	▲ 1.00	USDJPY 6M Vol	6.78	0.06%
WTI	55.50	0.02	USDJPY 1M 25RR	-0.93	Yen Call Over
CRB指数	181.40	▲ 0.35	EURJPY 3M Vol	6.93	0.19%
ドルインデックス	96.06	▲ 0.35	EURJPY 6M Vol	7.58	▲ 0.04%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月26日	22:30	米 住宅着工件数	12月 1078k	1256k
	22:30	米 建設許可件数	12月 1326k	1290k
	22:30	米 住宅着工件数(前月比)	12月 -11.2%	-0.1%
	22:30	米 住宅建設許可(前月比)	12月 0.3%	-2.6%
2月27日	00:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	2月 131.4	124.9

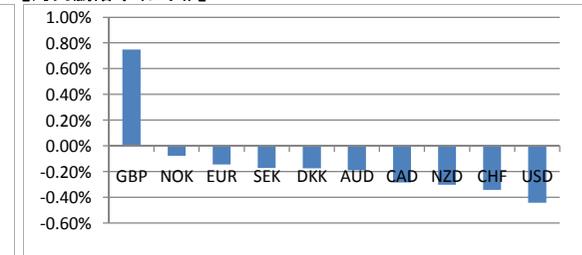
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月27日	22:30	加 CPI(前年比)	1月 1.4%	2.0%
	22:30	米 卸売在庫(前月比)・確報	12月 0.4%	1.1%
-	-	米朝首脳会談(初日)	-	-
2月28日	00:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	1月 1.0%	-2.2%
	00:00	米 製造業受注(前月比)	12月 0.6%	-0.6%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.00-111.00	1.1330-1.1430	125.20-126.20

【マーケットインプレッション】

パウエル米FRB議長は議会証言において「一部で相反する流れや、シグナルが見られる」と指摘、将来の政策変更に向け強いアプローチを取ることが正当化されるとした。これを受けドルは上値重く推移し、さらにメイ英首相がEU離脱延期を選択肢とする考えを示唆したため債券が全面高となった。未だに上値トライのセンチメントが残っているものの111円台の重さが浮き彫りとなったドル/円相場は111円で上値を伸ばすことは難しくなったと思う。

東京	東京時間のドル円は111.05レベルでスタート。111.31レベルに位置する200日移動平均線が意識される中、111円台では戻り売り圧力が強く上値重く推移。インドがパキスタン実効支配地域に対し空爆を行ったとの報道を受け地政学リスクが意識されたことや、中国株が反落したこと等を受け一時110.76まで下落し110.81レベルで海外へ渡った。(東京 15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、110.81レベルでオープン。特に材料もなく110.76-89の小幅推移にとどまり110.88レベルでNYに渡った。ボンドは、1.3130レベルでオープン。朝方より離脱延期観測が強まる中でボンドに買いが入り続ける。昼過ぎに議会討論があり、3月29日の離脱にこだわってきたメイ首相が消極的ながら初めて離脱延期を示唆する中で、1.32台を挟んだ値動きとなり結局1.3181レベルでNYに渡った。(ロンドン-00531 444 179 神田)
ニューヨーク	「インドがパキスタンのテロリスト拠点を空爆」とのヘッドラインにリスクオフムードが強まったことや、中国株の軟調推移を受けて、海外市場のドル円は、日経平均株価がマクドナルドに沈む動きを横目に110.76まで下落し、110.88レベルでNYオープン。朝方発表された米12月住宅着工件数が予想を下回ったことからドル売りが進み、米金利の低下とともに110.67まで下落するが、NY10時からのパウエルFRB議長の前上院銀行委員会での証言を前に配布された事前原稿の内容が思った程ハズレでないとの見方や、米2月消費者信頼感指数の結果が予想を上回ったことから110.87まで反発。しかし午後は米金利の低下を受けて安値110.41をつけ、110.59レベルでクローズ。一方、ECB委員会メンバーのレーン・アイルランド中銀総裁の「ユーロ圏の経済成長予測の下方修正は限定的」との発言が伝わる中、海外市場のユーロドルは前日の高値圏でもみ合い、1.1364レベルでNYオープン。朝方は米住宅関連指標の低調な結果に1.1375まで上昇するが、10時発表の米経済指標が予想を上回ったことから1.1345まで反落。その後、合意なきブレグジットへの懸念後退を背景にボンドが上昇する中、ユーロドルも連れ高となり1.1381まで上昇。午後は米金利の低下を受けてドル売りが再び強まる中、100日移動平均線(1.1391)のテクニカル水準を上げるとストップを巻き込みながら上昇し、一時1.1402をつける。終盤は1.1388まで反落し、1.1389レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:加藤・綱島